

「パーソナルファブ리케이션時代における設計と企画開発・マーケティング」

— 製品開発から商品開発へ、プロダクトからプロセスへ —

主催: 日本設計工学会

企画: 研究調査部会

協賛(予定): 応用物理学会/機械技術協会/機械振興協会/軽金属学会/計測自動制御学会/自動車技術会/情報処理学会/精密工学会/電気加工学会/電気通信協会/電子情報通信学会/東京設計管理研究会/東京都金属プレス工業会/日本オプトメカトロニクス協会/日本金型工業会/日本機械学会/日本工学会/日本工作機械工業会/日本自動車工業会/日本塑性加工学会/日本ソフトウェア科学会/日本鋳造工学会/日本溶接協会/日本ロボット学会/日本感性工学会/日本溶接学会

コンピュータが登場して半世紀が過ぎ、コンピュータは、専門家の道具からスマートフォンに代表される個人の道具になってきました。もの作りに関しても、デジタル技術を利用して個人が作りたいものを自分で作れる時代になってきました。クリスアンダーソンは、この流れを「21世紀の産業革命」と呼んでいます。

文系理系を問わず若者たちが新しい商品をどんどん生み出そうとしています。これまでの商品開発は自社技術の品質向上を主体に発展してきました。その意味では技術主導、生産者主導でした。しかし、ユーザーが、自分が本当に欲しいモノを作り出す時代となると、本当のニーズ主導となり、これまでになかった新しい市場が創造されてくる可能性があります。また生産者の役割も大きく変わると予想されます。

従来は同じ市場で市場占有率を争う競争でしたが、これからはまったく新しい市場創造を目指した活動が活性化すると期待されます。これまでの商品開発は戦術的な展開が主体で、現実には製品開発でしたが、これからは何を開発すべきかの戦略的活動が重要となり、商品開発の時代となってまいります。そして、製品だけではなく、作るプロセスが価値を生みだします。すなわち、これまではプロダクトの時代でしたが、これからはプロダクト+プロセスの時代へと転換してゆきます。すなわち、プロセスも商品として価値を生む時代となりました。

この新しい流れについていろいろな事例を紹介し、解説します。そして日本の設計、生産、そしてマーケティングがどのように変わってゆく可能性があるかをお話し、この新しい流れにどのように対応していったらよいかを皆さんとともに考え討論をしたいと思えます。

日 時 2013年7月20日(土), 13時00分~16時50分

会 場 工学院大学新宿校舎 21階 第5会議室

(〒163-8677 新宿区西新宿1-24-2)

会場アクセスマップ URL: <http://www.kogakuin.ac.jp/facilities/campus/shinjuku/access.html>

司 会 綿貫啓一 (埼玉大学)

次 第

時 間	題 目	内 容	講 師
	主催者挨拶		
13:00-14:20	パーソナルファブ리케이션時代の設計	パーソナルファブ리케이션により、ものづくりへの参入障壁が大きく下がり、新商品がどんどん生まれる可能性が広がっている。ここでは人間の持つ自己実現欲求の満足化を指向するMIT等の自作活動を始め、産業界の動向を含めさまざまな日米の事例を紹介する。パーソナルファブ리케이션は単なるDIYではなく、人びとの共感を指向したソーシャル活動であることに注目する必要がある。すなわち、パーソナルファブ리케이션が、これまでの産業とどのように違い、なぜそれが21世紀の産業革命と呼ばれるのかについて述べ、設計、生産をどのように変化させてゆく可能性があるかを述べる。 質疑応答、討論 20分	工学院大学准教授 見崎大悟
14:20-14:30	休憩		
14:30-15:50	パーソナルファブ리케이션時代の企画開発・マーケティング	インターネットがまったく新しい市場を創造し、その拡大が急激に進んでいるように、3Dプリンターに代表されるデジタル生産技術の急激な発達には、これまでの生産者と顧客が分離したエンジニアリング1.0の世界から、生産者と顧客の区別が消滅し、一緒に望むモノを開発し生産するエンジニアリング2.0の世界へとモノ作りを大きく変化させると予想される。ここではその変化が産業界にどのような影響をもたらすかを議論する。すなわち、これまでの既存市場を前提にした活動から脱却し、まったく未開の地を開拓する企画開発、マーケティングへと転換する必要があることを述べる。 質疑応答、討論 20分	Stanford University Visiting Professor 慶応義塾大学 SDM研究所顧問 福田収一
15:50-16:50	総合討論		全員で討論

定 員: 50名(先着順で定員になり次第締切りです)

受講者: 設計、企画開発、生産、マーケティング担当などさまざまな関連分野の方々

参加費: 会員(賛助会員および協賛団体会員を含む) 10,000円、非会員 20,000円(テキスト代含む)、学生会員 無料(ただし、資料ご入用の場合は、4,000円をご負担ください)、学生非会員 5,000円(テキスト代含む)

資 料: 資料のみ、または聴講者で2冊以上ご希望の場合、1冊4,000円

申込締切: 2013年7月18日(木)

申込方法: 郵便, Fax, または E-mail に「講習会(パーソナルファブ리케이션時代における設計とマーケティング)参加申込み」と題記し, (1)参加者氏名, (2)勤務先・所属部課名, (3)連絡先(郵便番号・住所・電話番号・FAX番号・E-mailアドレス), (4)会員資格, をご記入のうえ, 下記申込先にお申込みください。

申込先: 公益社団法人日本設計工学会
〒169-0073 東京都新宿区百人町2-22-17, セラミックスビル内, 電話03-5348-6301, Fax03-5348-6280,
E-mail: jimukyoku@jsde.or.jp